

平成26年度

さいたま知っ得予算

- さいたま市の予算と財政状況 -



さいたま市の

- ・平成26年度予算
- ・財政状況

についてわかりやすく解説します！

■目次

【予算編】さいたま市の平成26年度予算 ～さいたま市のお金の使いみちは？～

- ・予算って何？ 2
- ・予算はどうやって決めるの？ 2
- ・会計には種類があるの？ 2
- ・収入と支出の内訳は？ 3
- ・さいたま市の予算を家計に例えると？ 6
- ・どのような事業に取り組むの？ 7

【財政状況編】さいたま市の財政状況 ～さいたま市のフトコロ事情は安心？～

- ・収入の状況は？ 8
- ・支出の状況は？ 9
- ・貯金の残高は？ 10
- ・市が借りているお金はいくらあるの？ 11
- ・さいたま市のフトコロ事情は安心？ 12
- ・フトコロの体力測定 12
- ・今後の財政見通し 12

●はじめに ～さいたま市の財政に興味ありませんか？～

「財政」や「予算」という言葉をきくと、「興味ない」、「なんだか難しそう」、「わかりにくそう」なんて感じていませんか？ でも予算は、市民の皆様へ納めていただいている税金の使いみちを示したものであり、市民生活に密接に関わっています。

本冊子「さいたま知っ得予算」は、財政に興味のない方でも「知って得する」内容を目指して作成しました。ぜひ手に取り、皆様の税金がどのように使われているのか、さいたま市の財政状況はどうなっているのかをお確かめください。

そして、これをきっかけに行政サービスの利用につなげていただいたり（知って得した！）、市政に一層の関心を持っていただき、市の課題を共に考え、市民の皆様と力を合わせてよりよいまちづくりを進めていくことができたら幸いです。

●「知っ得予算」の特徴と構成

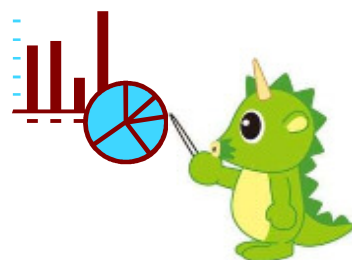
(1) 特徴

◇図やイラストを活用して解説

…「知っ得予算」は、法律で定める通常の予算書では伝わりにくい予算の具体的な内容を、図やイラストを活用して解説しています。

◇年度推移や他市との比較がグラフで一目瞭然！

…さいたま市の財政状況について、年度推移や他市との比較をグラフで示すことにより、現在のさいたま市の「位置」を客観的に理解しやすい内容になっています。



(2) 構成

「知っ得予算」は、大きく分けて「予算編」と「財政状況編」の2部構成となっています。平成26年度に取り組む事業の内容については「予算編」、皆様が納めていただく市税をはじめとした市の収入の状況や市が借りているお金などの財政状況については「財政状況編」をご覧ください。

P.2～7 予算編

さいたま市の平成26年度予算 ～さいたま市のお金の使いみちは？～



「予算ってそもそも何？」

P.2 ・予算って何、
・予算はどうやって決めるの？



「財政って難しそう、家計簿みたいならいいのに」

P.6 ・さいたま市の予算を家計に例えると？



「さいたま市はどんな事業に取り組んでいるの？」

P.7 ・平成26年度はどのような事業に取り組むの？

P.8～12 財政状況編

さいたま市の財政状況 ～さいたま市のフトコロ事情は安心？～



「さいたま市が借りているお金はいくらくらい？」

P.11 ・市が借りているお金はいくらあるの？



「さいたま市の財政状況は健全なの？」

P.12 ・さいたま市のフトコロ事情は安心？

1. さいたま市の平成26年度予算 ～さいたま市のお金の使いみちは？～

●予算って何？

…さいたま市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の見積もりです。



予算を見れば、この1年間、どのくらいの収入が見込めて、何にいくら使うのかが分かります。私たちが納めている税金は、国、県、市の収入となり、さまざまな行政サービスに使われています。国や地方自治体は、新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって、事業の内容などを計画します。この見積もりが「予算」です。

※決算とは？ …さいたま市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の実績を決算といいます。

●予算はどうやって決めるの？

…市長が予算案をつくり、議会の審議を経て決まります。



予算を決めるのは、私たち市民が選挙で選んだ市長と市議会議員です。市役所の税金を預かる部署などは、景気の動向などを踏まえて、翌年度の収入額を見積もります。また、事業を行う各部署は、市民からの意見や要望を聴き、地域の状況などを見ながら、「今、どのような行政サービスを行うべきか」「この地域で行うべき事業は何か」と、翌年度に行う事業の内容を検討します。

市長は、さいたま市総合振興計画などの市の計画をもとに、各部署で検討された案に私たちの生活の状況に合わせて新たな事業を加えたり、内容を見直す一方で、財源の確保も工夫しながら予算案をまとめ、市議会に提案します。

市議会では、市民の声を代表する市議会議員が、さまざまな議論を行いながら予算案を審議し、最終的に予算が決まります。

●会計には種類があるの？

…予算は、どの収入がどこに使われているのか、収入と支出の関係をはっきりさせるために、3つの会計(一般会計、特別会計、企業会計)に区分しています。

<さいたま市の平成26年度の予算>

全会計	8,986億円 (8,672億円)	前年度比 (3.6%増)	
一般会計	4,649億円 (4,475億円)	前年度比 (3.9%増)	教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計
特別会計	3,153億円 (3,121億円)	前年度比 (1.0%増)	国民健康保険や介護保険のように、対象者が限られるなど、一般会計と区別する必要がある事業の会計(16事業)
企業会計	1,184億円 (1,076億円)	前年度比 (10.1%増)	民間企業と同じように、事業収益でまかなわれている会計(水道、病院、下水道の3事業)

()内は前年度

※この他にも、自治体間の財政状況を比較するときに用いる「普通会計」とよばれる会計があります。(詳しくはP.8)

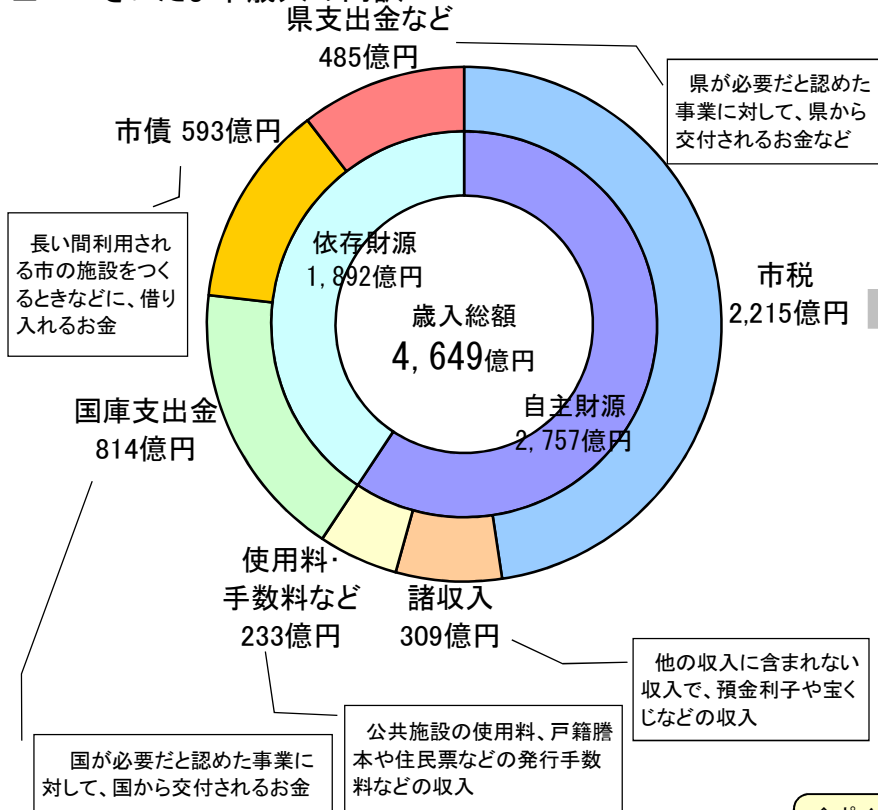
●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？

(1) 一般会計の収入(歳入)

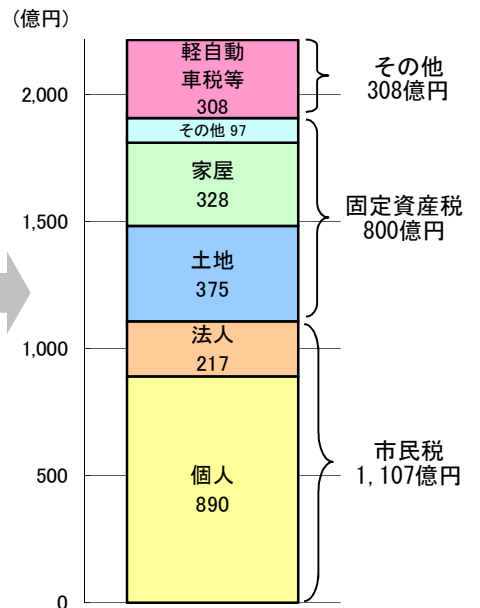
一般会計の収入(歳入)には、市税のほか、国や県から配られるお金や借入金(市債)など、さまざまなものがあります。これらの収入は、地方自治体が国や県に依存しないで自主的に収入できるかどうかで、「自主財源」と「依存財源」に分類することができます。

自主財源には、市税、使用料及び手数料などが、依存財源には、国庫支出金、市債、地方交付税などがあります。自主財源である市税などが多いほど、自主的な財政運営ができることになります。

■H26 さいたま市歳入の内訳



■市税の内訳



◇ポイント
さいたま市の歳入は、その約半分を市民の皆様の税金でまかなっており、市税の半分は市民税という構成になっています。

ちょっと

●宝くじは埼玉県内の売り場で！

埼玉県内で売れた宝くじの売り上げの一部は、さいたま市の収入となり、さまざまな事業に活用されています。

平成24年度宝くじ収入 **35億566万円** (諸収入の約1割！)

さいたま市の宝くじ収益金は、少子化対策などに役立てています。

(2) 一般会計の支出(歳出)

一般会計の支出(歳出)は、子育て、教育、商業振興など行政目的ごとの事業費を積み上げた「目的別歳出」と、人件費、扶助費、普通建設事業費など経費の性質ごとに分類した「性質別歳出」の2つの視点から見ることができます。

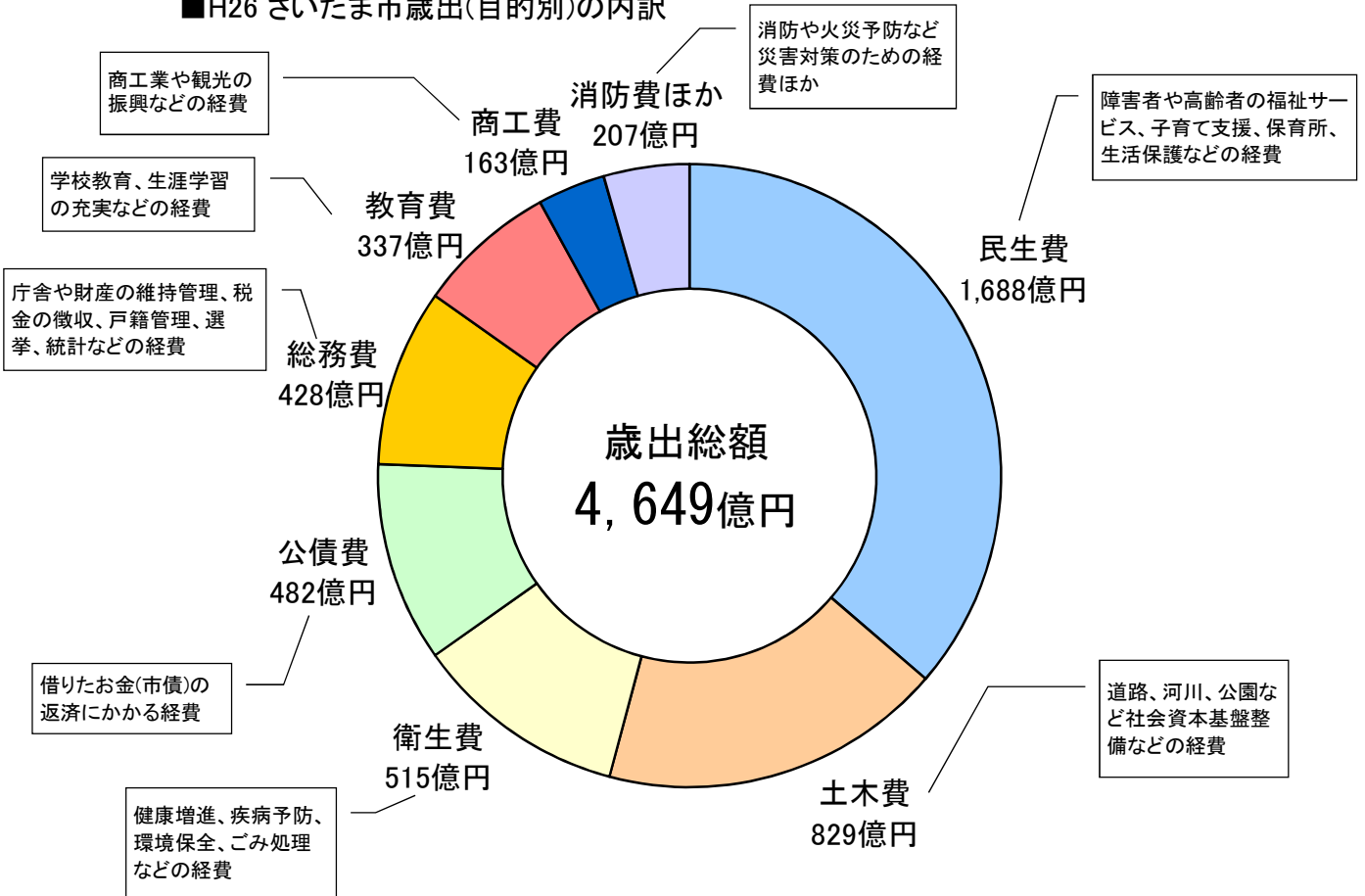


「教育費はどのくらいかかっているんだろう？」というのは目的別歳出、「人件費はどのくらいかかっているんだろう？」というのは性質別歳出を見れば分かるんだ。

① 目的別歳出

支出の内訳について、子育て、教育、商業振興など行政目的ごとにどれだけ使うのかを定めています。

■ H26 さいたま市歳出(目的別)の内訳



◇ちなみに…

平成26年度の歳出総額4,649億円を市民1人あたりにすると、

370,857円 となっています。

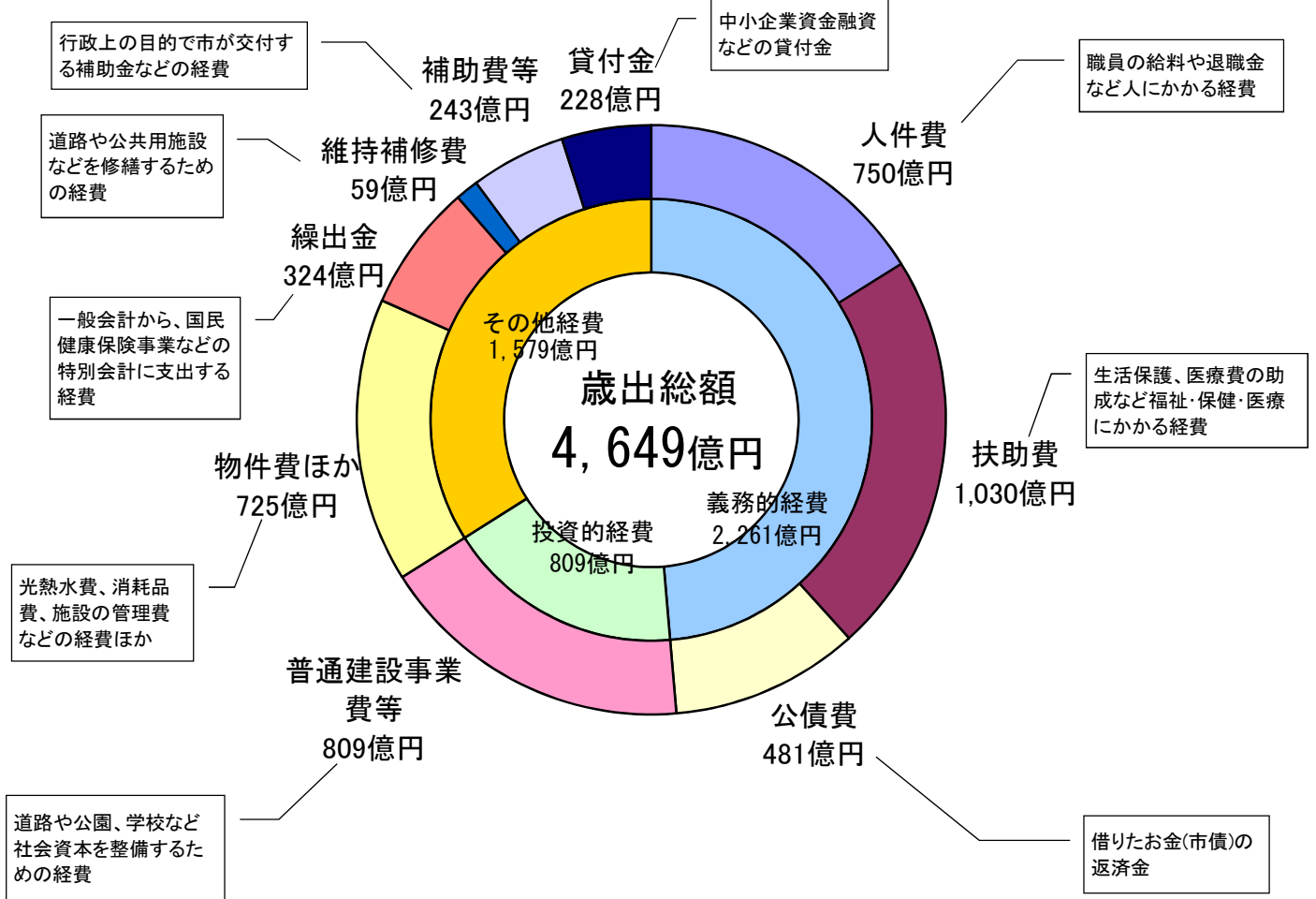
(※平成26年1月1日現在の住民基本台帳登録人口 1,253,582人で試算)

②性質別歳出

支出の内訳は、人件費、扶助費、普通建設事業費など、経費の性質ごとにどれだけ使うのかも見るができます。

このうち、人件費、扶助費、公債費の3つを合わせた経費を「義務的経費」（毎年必ず支出が必要となる固定的な経費）、また、道路、橋、公園、学校、公営住宅の建設など社会資本の整備に要する普通建設事業費等の経費を「投資的経費」とよんでいます。

■H26 さいたま市歳出(性質別)の内訳

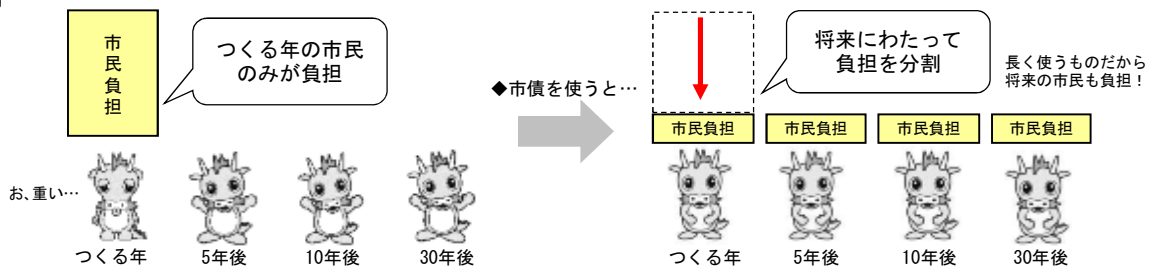


ちょっと一息

●どうしてお金を借りるの？



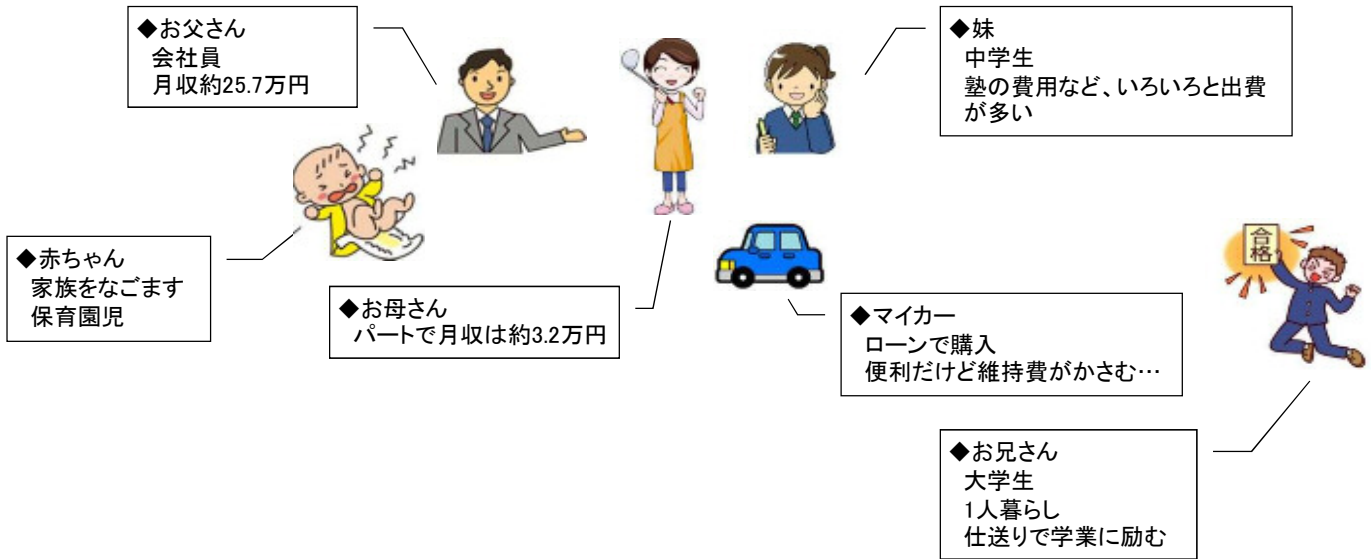
道路や学校などの施設は、つくる年だけでなく、将来にわたり次の世代の市民も使います。そのため、つくる年の市民だけに建設費を負担してもらうのではなく、次の世代の市民にも公平に負担してもらうため、借金をすることにより「分割払い」としています。



●さいたま市の予算を家計に例えると？

市の予算は数字が大きすぎて実感がわかないかもしれません。そこで、さいたま市の一般会計予算の総額を、給与所得者の平均給与である408万円（国税庁 平成24年分民間給与実態統計調査より）の家計に置き換えてみました。

食費（人件費）、家族の医療費（子育て支援医療費など扶助費）、ローン返済（公債費）の3つは義務的経費とよばれ、一般家庭のエンゲル係数（家計における食費の占める割合）と同様、これが高いと家計に余裕がないことを意味しています。（平成26年度の義務的経費の占める割合は、48.7%です）



《収入》			《支出》		
◆現金の収入	月額 ()内は年額	構成比	◆現金の支出	月額 ()内は年額	構成比
給料	256,996円 (308万円)	75.5%	食費 (人件費)	54,826円 (66万円)	16.1%
{ ・本給（市税） ・諸手当 (地方譲与税、地方交付税、 国・県支出金等)	162,002円 (194万円)	47.6%	家族的医療費・保育料 (扶助費)	75,332円 (90万円)	22.2%
	94,994円 (114万円)	27.9%		ローンの返済 (公債費)	35,195円 (42万円)
パート収入 (使用料・手数料ほか)	31,554円 (38万円)	9.3%		光熱水費、衣料費など (物件費ほか)	69,304円 (83万円)
貯金の取り崩しなど (繰入金)	8,103円 (10万円)	2.4%	子どもへの仕送り (繰出金)	23,694円 (29万円)	7.0%
◆1年間で組む予定のローン			◆今年予定している大きな支出		
家のリフォームをする ためのローン※ (市債)	43,347円 (52万円)	12.8%	家のリフォーム (普通建設事業費)	59,180円 (71万円)	17.4%
収入計	340,000円 (408万円)	-	支出計	340,000円 (408万円)	-

※ローン残高 … 398万円(市債残高4,531億円を換算)

●平成26年度はどのような事業に取り組むの？

平成26年度は、歳入予算では、個人市民税や固定資産税等、歳入の根幹をなす市税の増収が見込まれるものの、歳出予算では、自立支援給付費など社会保障関係経費等の増額により、収支不足が拡大する厳しい予算編成となりました。

このような中、新たにスタートする総合振興計画の後期基本計画を踏まえるとともに、「しあわせ倍増プラン2013」や「さいたま市長戦略」を推進し、本市が持続可能な発展を続け、選ばれる都市の実現を目指すため、次のような事業に取り組んでいくこととしました。

◇子育て支援、高齢者支援、教育の充実

保育所の整備

【予算 17億5,607万円】



保育所待機児童の解消を図るため、保育所の新設や老朽化に伴う増改築等の整備に要する経費の一部を補助します。

シルバーポイント事業の拡充

【予算 4,533万円】



高齢者サロンの参加者や高齢者のボランティア活動に対しポイントを付与し奨励金等を交付します。

スクールアシスタントの配置

【予算 4億6,023万円】



学校教育の更なる充実のため、新たに教員免許状を有するスクールアシスタントを各学校に配置します。

◇防災、環境・エネルギー対策

WHOの認証取得の推進

【予算 843万円】



WHOが推進する、市民が安全に安心して暮らせる地域社会を実現するための国際セーフコミュニティ及び児童生徒の安全を一層確保するためのインターナショナルセーフスクールの認証取得に向けた取組に着手します。

新クリーンセンターの整備の推進

【予算 155億2,718万円】



リサイクル活動機能を備えたりサイクルセンター及び高効率で熱回収し発電等を行う廃棄物処理施設である新クリーンセンターの平成27年度の本格稼働を目指し、整備を推進します。

◇健康増進・医療の充実

スマートウェルネスさいたまの推進

【予算 2,463万円】



「健幸」で元気に暮らせるまちの実現に向け、モデル事業である健幸サポート事業や各区におけるウォーキングイベントを始めとした関連事業を実施することにより、市全体で健康づくりの取組を推進します。

市立病院の施設整備

【予算 2億3,632万円】



市民に対する安心で、安定した医療の提供の継続と医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備事業について、基本設計、託児棟移設等を実施します。

◇地域経済の活性化

(仮称)さいたまトリエンナーレの開催準備

【予算 4,244万円】



国際的な芸術祭の平成28年度開催に向け、準備委員会を設立し、開催方針及び事業計画を検討するとともに、キックオフイベントを開催します。

自転車通行環境の整備

【予算 2億8,492万円】



歩行者の安全性を確保した上で、自転車の安全で快適な走行を実現するため、自転車の利用環境の整備を推進します。

世界盆栽大会の開催準備

【予算 1,819万円】



世界盆栽大会開催に向け、天宮盆栽を世界に発信し、国内外からの観光客を誘致するための取組を実施します。

(仮称)アーバンデザインセンターみその設置

【予算 1,820万円】



みそのウイングシティの成長・発展に向けたまちづくりを推進するための情報発信等の拠点となる(仮称)アーバンデザインセンターみその機能について、基本構想を策定し、設計等を実施します。

このほかにもさまざまな事業に取り組んでいきます。
また、現場の声を政策に反映するために、市政の最前線である各区役所からの提案事業にも取り組んでいきます。



※平成26年度の主要な事業の概要及び予算の査定経過等については、市のホームページでも確認できます。
<http://www.city.saitama.jp/index.html> (トップページから、「市政情報」→「政策・財政」→「予算・決算」へとお進みください。)

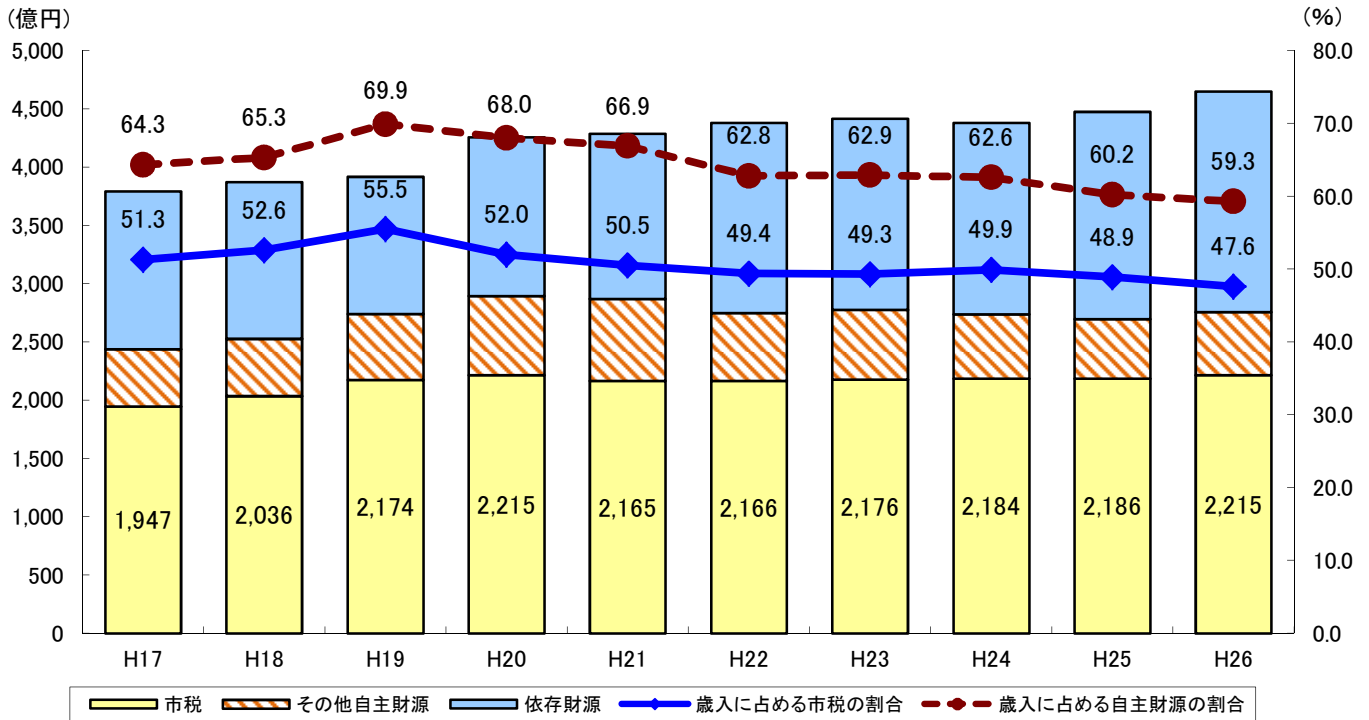
2. さいたま市の財政状況 ～さいたま市のフトコロ事情は安心？～

●収入の状況は？

収入(歳入)は、市税や使用料、手数料など地方自治体が国や県に依存しないで自主的に収入することができる「自主財源」と、国庫支出金、市債、地方交付税など自主的に収入できない「依存財源」に分類され、自主財源である市税などが多いほど、自主的な財政運営ができることになります。

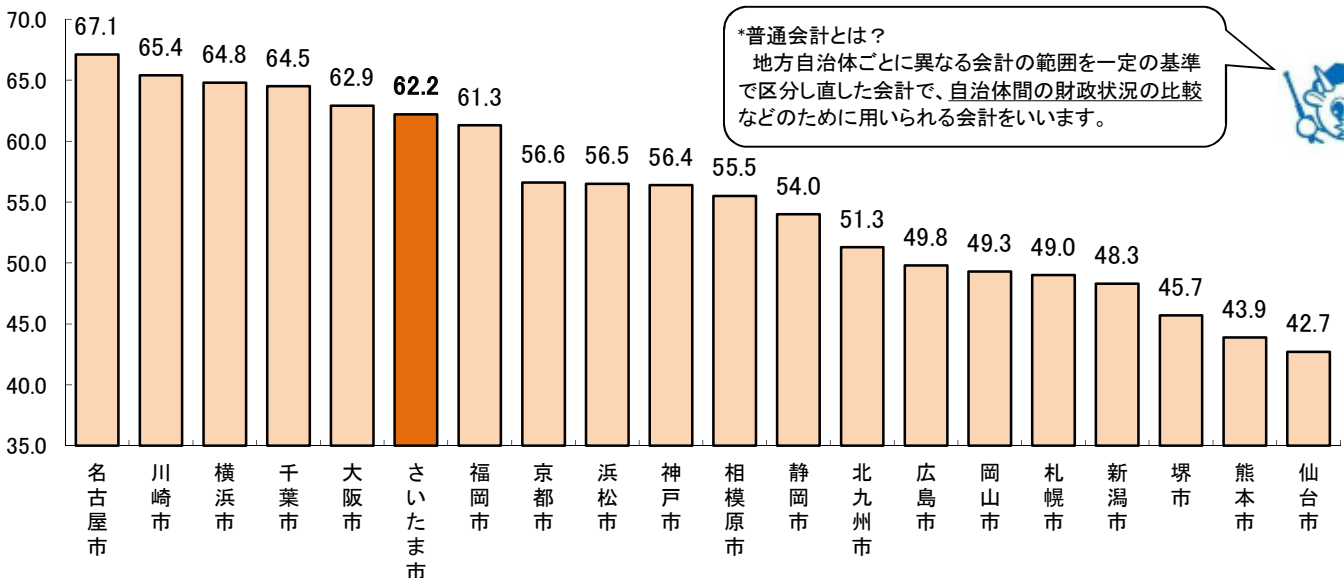
さいたま市の歳入の約半分を占める市税収入は、平成16年度以降5年連続で増加していましたが、景気の悪化の影響による平成21年度の減収以降、低調に推移していました。平成26年度の市税収入は、個人市民税における納税義務者数の増加及び固定資産税における家屋の新增改築等により増収となり、平成20年度の水準まで回復する見込みです。

■自主財源の推移(～H24:決算額 H25～:当初予算額)



■政令指定都市の自主財源比率(歳入に占める自主財源の割合)の比較(H24:普通会計*)

(%) さいたま市は政令指定都市の中で6番目の水準にあり、比較的自主的な財政運営が可能といえます。



*普通会計とは？
地方自治体ごとに異なる会計の範囲を一定の基準で区分し直した会計で、自治体間の財政状況の比較などのために用いられる会計をいいます。

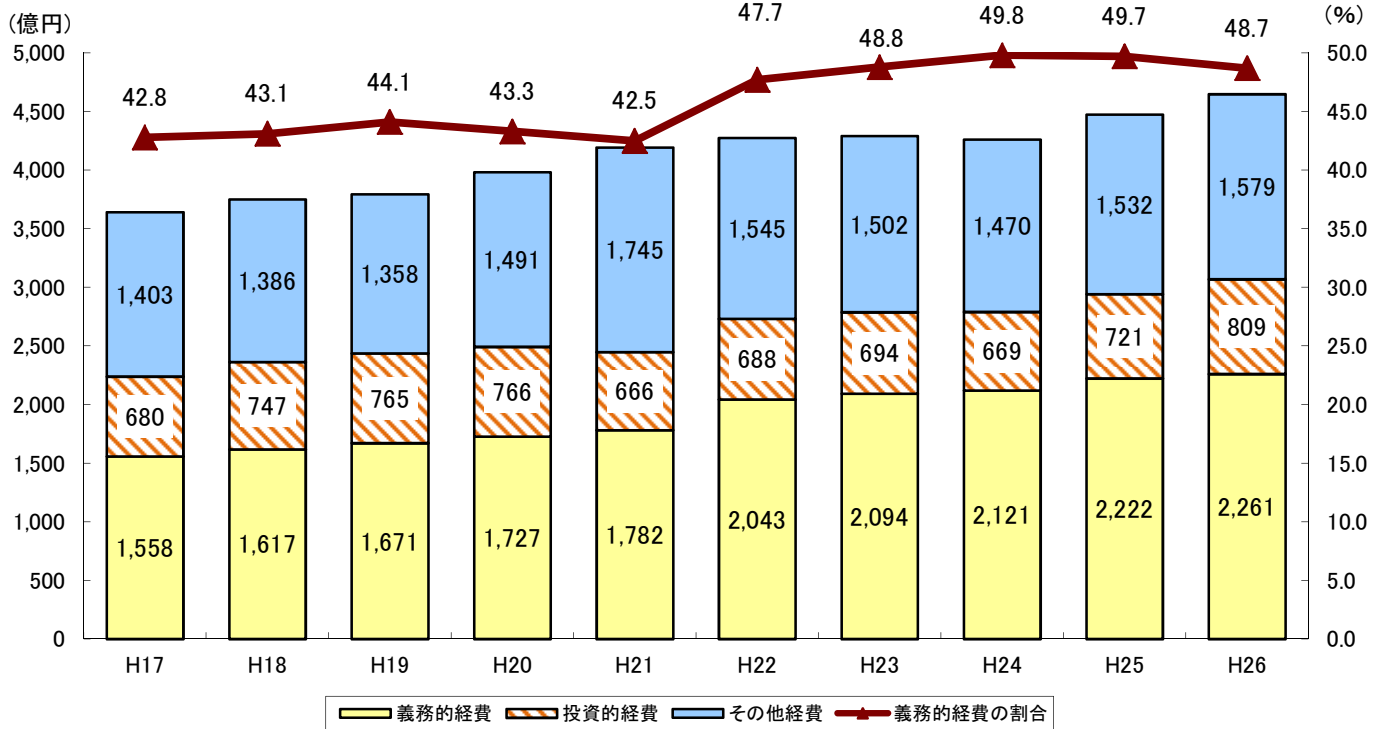


●支出の状況は？

支出(歳出)のうち、人件費・扶助費・公債費の3つを合わせた義務的経費が年々増加しています。特に扶助費については、少子高齢化に伴う福祉や医療にかかる費用の増加、景気の悪化による生活保護費の増加などの影響により大きく増えており、今後も増加傾向は続く見込みです。

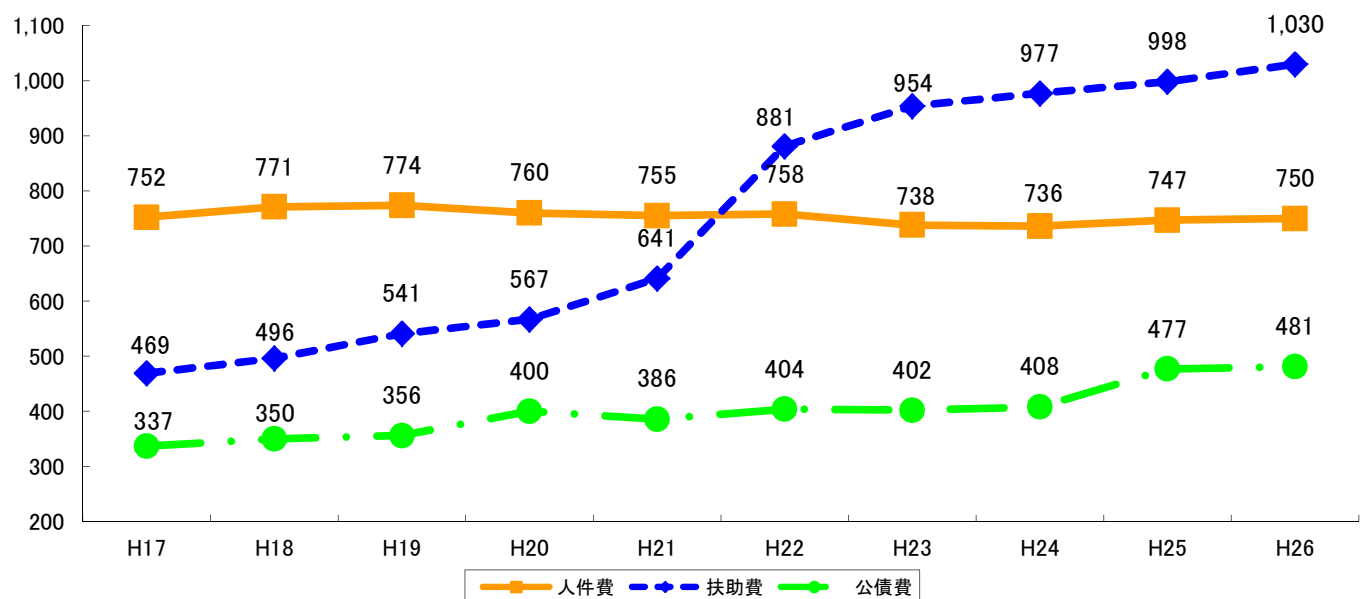
義務的経費は、収入が減ってもそれに合わせて簡単に減らせるものではありません。そのため、収入が増えない中で義務的経費が増えると、新しい事業への投資に使えるお金が少なくなります。

■性質別歳出の推移(～H24:決算額 H25～:当初予算額)



■義務的経費の推移(～H24:決算額 H25～:当初予算額)

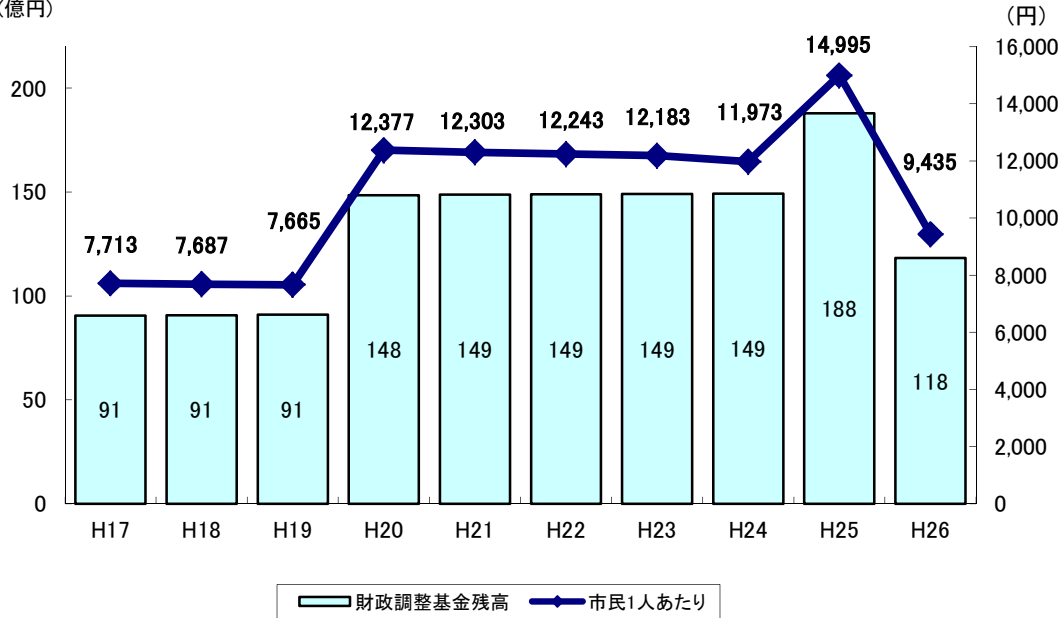
人件費や公債費は微増ないし横ばいで推移していますが、扶助費については年々増加しており、特に平成22年度以降は増加が著しく、今後も増加傾向は続く見込みです。



●貯金の残高は？

経済情勢の変動による財源不足や災害発生など緊急に支出が必要な場合に備え、貯金しています。

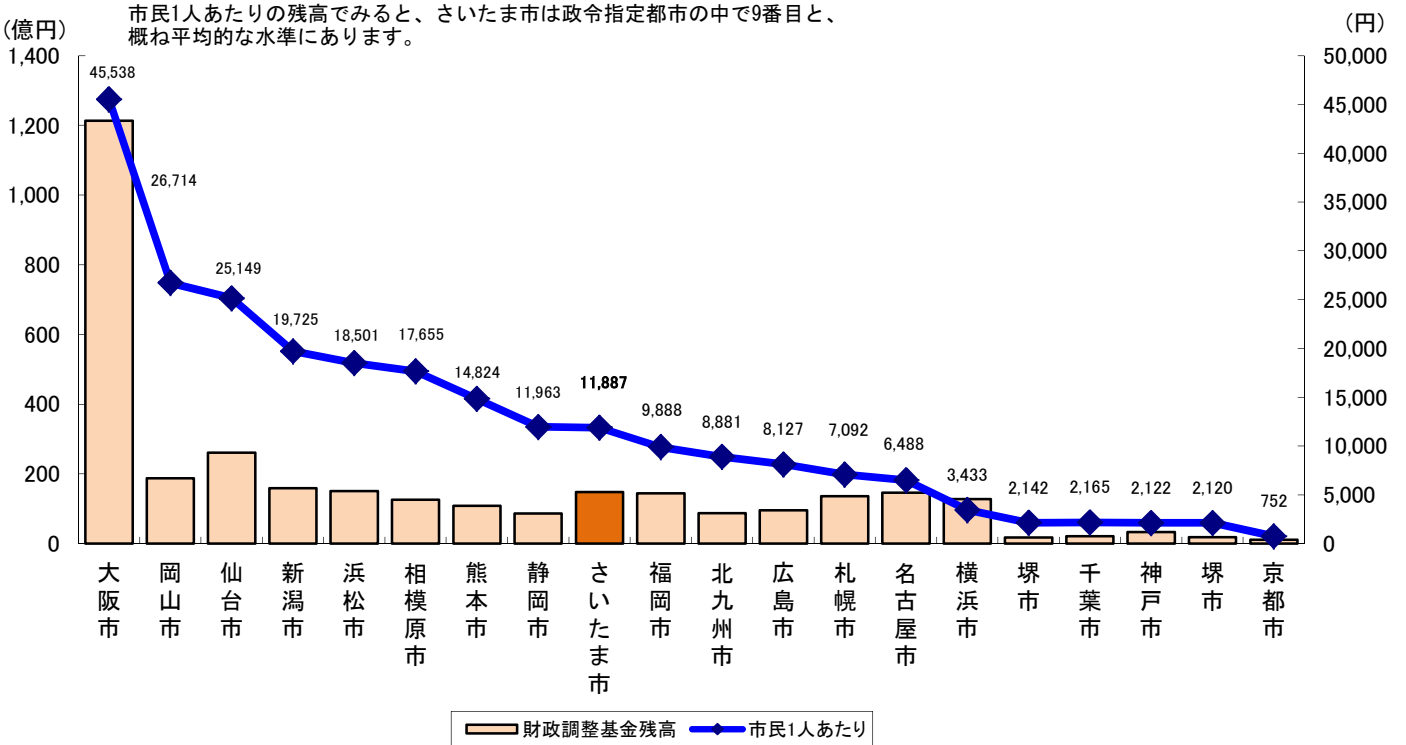
■貯金(財政調整基金*)年度末残高の推移(～H24:決算額 H25、26は見込み)
(億円)



※財政調整基金とは？
年度間の財源の不均衡などを調整するための基金です。財源に余裕のある場合や、決算剰余金が発生した場合に積み立てます。

■政令指定都市の財政調整基金残高の比較(H24:普通会計)

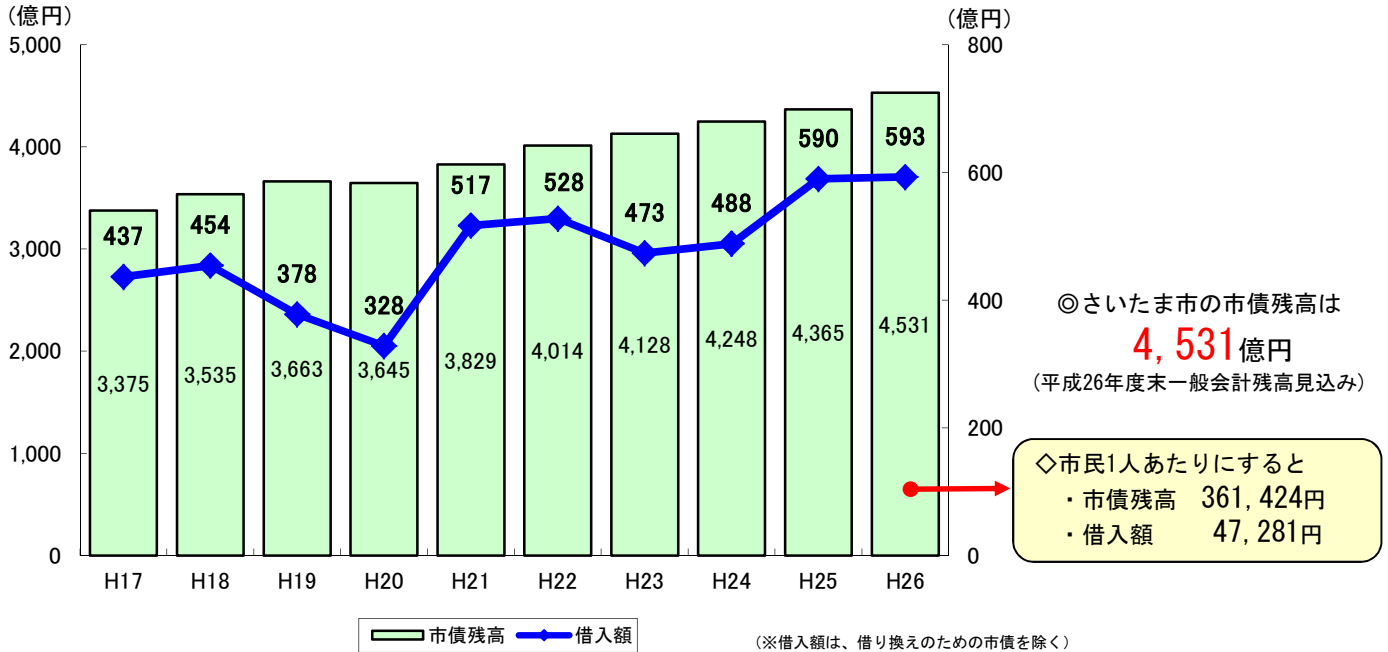
(億円) 市民1人あたりの残高でみると、さいたま市は政令指定都市の中で9番目と、概ね平均的な水準にあります。



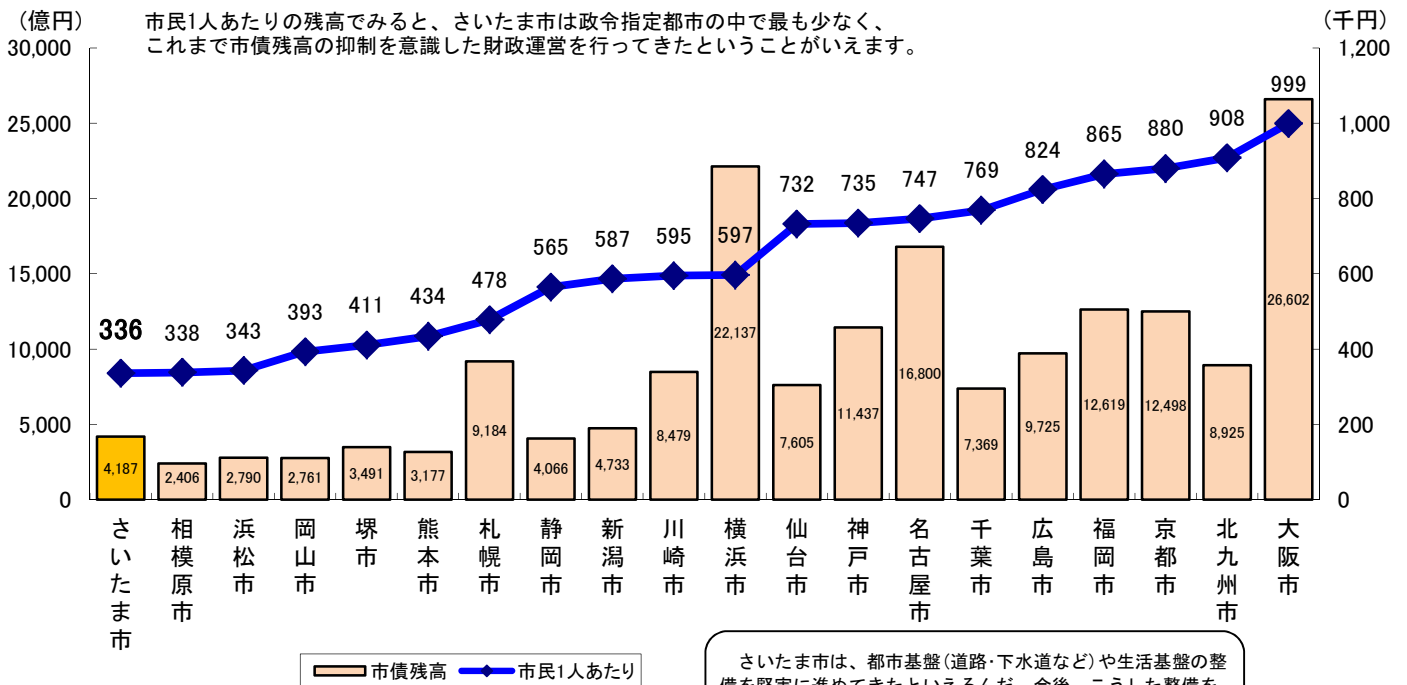
●市が借りているお金はいくらあるの？

さいたま市が借りているお金は4,531億円（市民1人あたりにすると361,424円）となっています。

■市債残高及び借入額の推移（～H24:決算額 H25、26は見込み）



■政令指定都市の市債残高の比較（H24:普通会計）



●さいたま市のフトコロ事情は安心？



地方財政の財政悪化を背景に、「地方団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に成立しました。この法律は、地方自治体の財政状況を客観的な指標でチェックして、悪化している団体を確実に健全な状態にしておくことを目的とします。

さいたま市は、将来世代への責任を果たせる健全な財政運営の維持を図る取組をしてきたことにより、平成24年度決算に基づいて算出した健全化指標は、すべて国が定めた基準をクリアしており、健全であるといえます。

＜平成24年度決算に基づく財政健全化指標＞

指標		解説	さいたま市	早期健全化基準※1	財政再生基準※2
健全化判断比率	実質赤字比率	財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	- (赤字なし)	11.25%	20%
	連結実質赤字比率	財政規模に対する全会計の赤字の割合	- (赤字なし)	16.25%	30%
	実質公債費比率	財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額等の割合	5.4% (政令市中3位)	25%	35%
	将来負担比率	財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額等の割合	34.1% (政令市中2位)	400%	
資金不足比率		公営企業ごとの事業規模に対する資金不足額の割合	-	20%	

※1 この基準以上となった場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。

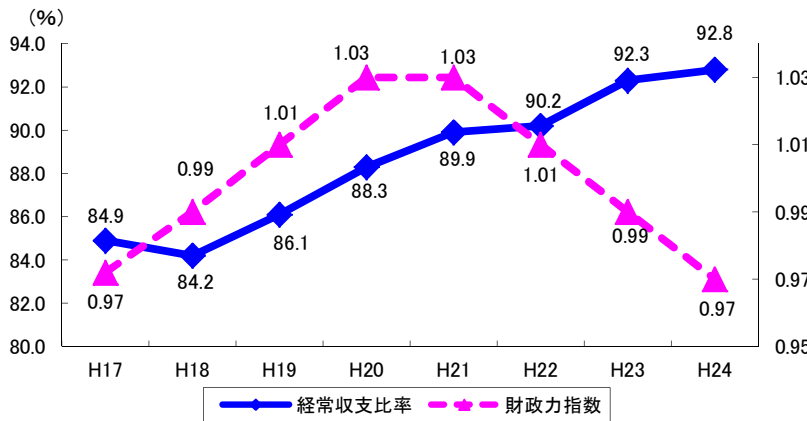
※2 この基準以上となった場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。

＜比率の結果＞

◎ どちらも低い水準で健全です

●フトコロの体力測定 ～財政の健全性を測定～

■経常収支比率と財政力指数の推移(～H24:普通会計決算)



◎経常収支比率（市税などの継続的に見込める収入が、節約の難しい義務的な支出にあてられている割合）
92.8%（政令市20市中**8位**）

◎財政力指数（標準的な行政を行うためのお金を自らまかなえる割合）
0.97（政令市20市中**3位**）

政令市平均を40歳とすると、さいたま市は**34歳**

※経常収支比率の政令市平均(94.9)を40歳、第1位の岡山市(88.2)を20歳として試算



●今後の財政見通し ～より安定的な財政へ向けて～

これまでさいたま市は、歳出削減への積極的な取組や、安定した市税収入を確保することなどにより、他市に比べ堅実な財政運営を行ってきました。

しかしながら、個人市民税では転入等により納税義務者の増、固定資産税では家屋の新増改築等により増収が見込まれるものの、支出では福祉や医療など義務的な経費が増加傾向にあります。



■安定的な財政を維持するためには何が必要？

より少ない予算でより大きな効果を上げられるよう、事業のやり方を見直すことなどが必要です。

さいたま市では、行財政改革の理念やこれまでの成果を踏まえ、将来にわたっても安定的な財政を維持していくよう行財政改革に取り組んでいます。

社会保障と税の一体改革への対応

社会保障と税の一体改革

「社会保障と税の一体改革」は、消費税をはじめとした税制の抜本改革により、今後も増加が見込まれる社会保障施策※に要する経費にその全額を充て、社会保障の充実・安定化を図るものです。

現行では、5%のうち1%が地方消費税、地方消費税交付金として都道府県や市町村に配分されていますが、税率引上げ後は1.7%に引き上げられます。地方税法では、引き上げ分の税収は「年金・医療・介護・子育て」の4分野やその他社会保障施策に使うこととされています。

※社会保障施策とは、児童福祉や高齢者福祉などの「社会福祉」、国民健康保険や介護保険などの「社会保険」、医療や疾病予防などの「保健衛生」のいずれかに関する施策

さいたま市の状況

本市における社会保障施策に該当する平成26年度の事業費は、総額約861億円となっています。

また、消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金の影響額は、約24億円増を見込んでいます。

主な取組

地方消費税交付金の増収分約24億円は、以下のような社会保障制度の充実・安定化に充てられます。

○社会福祉（総事業費：約441億円、充当額：約11億円）

- ・ 公立保育所の運営、認可保育所の運営補助
- ・ 保育コンシェルジュの配置
- ・ 日常生活用具の給付・貸与
- ・ 養護老人ホームへの入所措置 など

○社会保険（総事業費：約233億円、充当額：約7億円）

- ・ 保険制度安定運営のための特別会計への繰出し
後期高齢者医療事業特別会計繰出金・介護保険事業特別会計繰出金 など

○保健衛生（総事業費：約186億円、充当額：約6億円）

- ・ 各種健康診査
- ・ 予防接種 など

社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費

〔事業費総額〕 861.1億円(うち一般財源 569.0億円)

〔社会保障施策に要する経費に充てる引上げ分の地方消費税交付金額〕 23.8億円

項目	予算科目			平成26年度当初予算						
	款	項	目	予算額	特定財源			一般財源		
					国県支出金	市債	その他	引上げ分地方消費税交付金	その他	
社会福祉	民生費	障害者福祉費	障害者福祉費	5,329,342	3,132,156	0	1	79,526	2,117,659	
		老人福祉費	老人福祉費	847,227	0	0	83,272	27,652	736,303	
		児童福祉費	児童福祉総務費	児童福祉総務費	52,109	8,791	0	102	1,564	41,652
			児童福祉費	児童福祉費	3,845,419	1,176,626	0	295,792	222,464	2,150,537
			児童福祉施設費	児童福祉施設費	19,939,729	4,703,526	461,100	2,765,628	618,987	11,390,488
		障害児総合療育施設費	障害児総合療育施設費	461,708	0	0	370,877	3,288	87,543	
	生活保護費	扶助費	扶助費	13,673,154	10,254,865	0	0	123,724	3,294,565	
	教育費	幼稚園費	幼稚園費	幼稚園費	41	0	0	41	0	0
			幼稚園振興費	幼稚園振興費	3,865	0	0	3,865	0	0
	小計①				44,152,594	19,275,964	461,100	3,519,578	1,077,205	19,818,747
社会保険	民生費	老人福祉費	老人福祉費	8,692,206	1,032,395	0	0	277,245	7,382,566	
		介護保険費	介護保険費	8,965,669	0	0	0	324,510	8,641,159	
		国民健康保険費	国民健康保険費	5,660,405	2,010,285	0	17,500	131,482	3,501,138	
	小計②				23,318,280	3,042,680	0	17,500	733,237	19,524,863
保健衛生	民生費	障害者福祉費	障害者福祉費	4,193,018	1,126,524	0	528,110	91,876	2,446,508	
		老人福祉費	老人福祉費	251,634	0	0	206,658	1,628	43,348	
		児童福祉費	児童福祉費	1,632,062	119,579	0	14,129	54,232	1,444,122	
	衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費	保健衛生総務費	977,205	153,908	0	45,561	28,149	749,587
			予防費	予防費	9,477,725	670,408	0	561	318,758	8,487,998
			保健所費	保健所費	59,272	0	0	0	2,145	57,127
			健康科学研究センター費	健康科学研究センター費	53,619	104	0	21	1,936	51,558
			環境衛生費	環境衛生費	44,500	4,536	0	19,246	750	19,968
	清掃費	清掃総務費	清掃総務費	54,078	0	0	7	1,957	52,114	
	病院費	病院費	病院費	1,746,040	0	0	0	63,197	1,682,843	
	教育費	保健体育費	学校保健費	学校保健費	146,090	670	0	0	5,263	140,157
小計③				18,635,243	2,075,729	0	814,293	569,891	15,175,330	
合計 ①+②+③				86,106,117	24,394,373	461,100	4,351,371	2,380,333	54,518,940	

※「社会保障の充実分」に充当した以外の引上げ分は「社会保障の安定化分」として各経費にあん分して充当している。

◇もっと詳しく知りたい方は、次の冊子やホームページもご覧ください。

(冊子は区役所の情報公開コーナーで閲覧することができます)

●【予算案の概要】

予算案を発表したときの資料です。

●【さいたま市の財政状況】

予算執行状況や財産状況など市の財政状況を市民の皆様にお伝えする冊子です。毎年6月と12月の年2回発行しています。

●【企業会計的手法による財政状況】

複式簿記および発生主義の考え方を導入した公会計(民間企業に近い会計)に基づき作成した貸借対照表等の財務書類です。

※これらの冊子は、ホームページでもご覧になれます。 <http://www.city.saitama.jp/index.html>

(さいたま市役所のトップページから、「市政情報」→「政策・財政」→「予算・決算」または「財政状況」へとお進みください)

この冊子は300部作成し、1部当たりの印刷経費は40円(概算)です。

【さいたま知っ得予算(平成26年度)】

平成26年4月

編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課

TEL 048-829-1153~1155